

## 地域アンケート結果（石尾台中学校区）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり地域の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



### ◆アンケート概要

実施期間	令和7年6月26日（木）から7月13日（日）まで
対象者	石尾台中学校区（玉川小、石尾台小、押沢台小学校区）の住民
実施方法	インターネットアンケート
回答数	127人（玉川小：37人、石尾台小：50人、押沢台小：40人）

- 1 お住まいの小学校区を選択してください。
- 2 あなたの年齢を選択してください。
- 3 あなたは、小中学校の児童生徒の保護者、未就学児の保護者を対象に実施したアンケートにご協力いただきましたか。

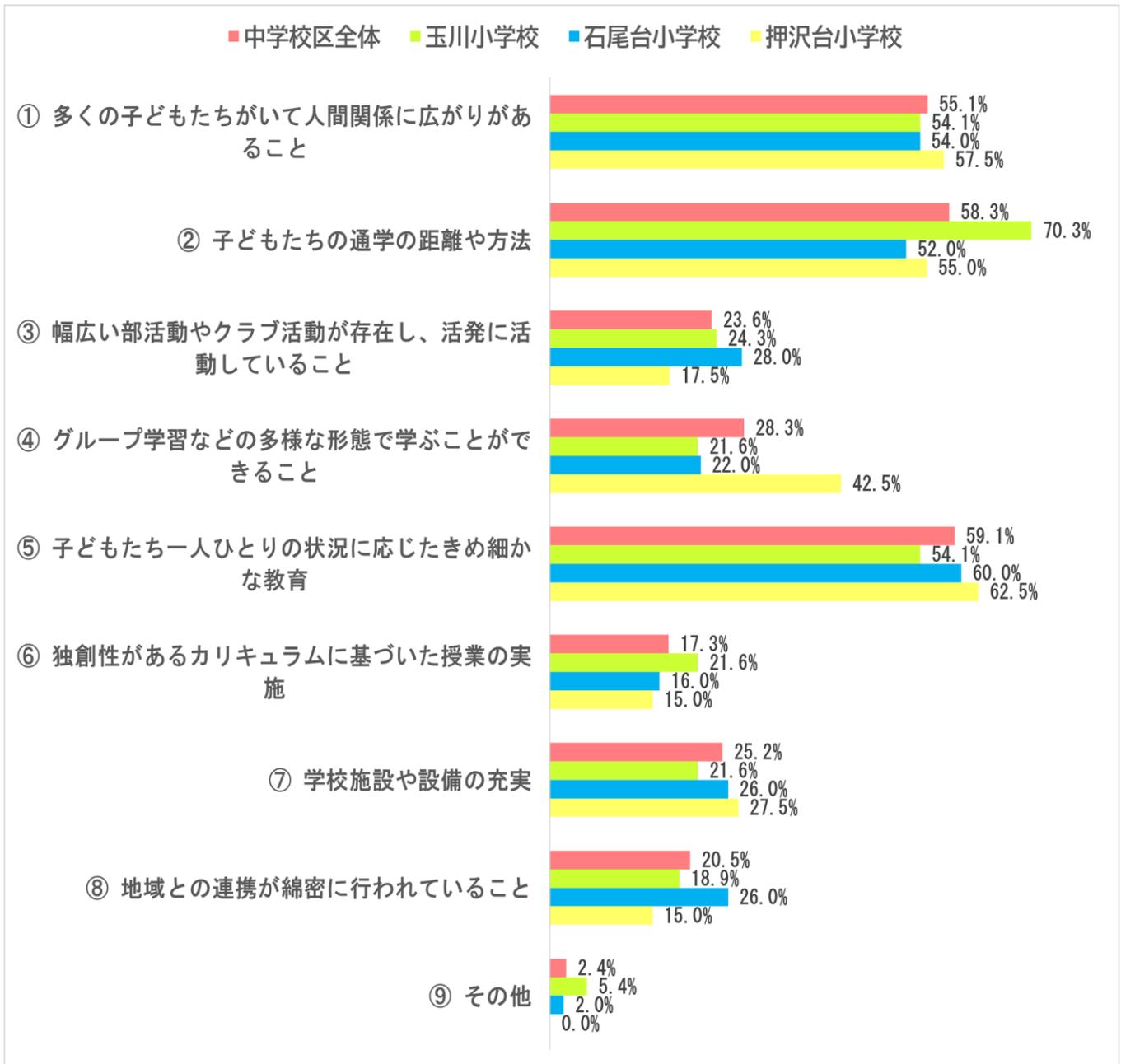
学校区	回答数	回答数の年代別内訳							保護者アンケート 回答の有無
		20歳以下	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61～70歳	71歳以上	
玉川小	37人	0人	1人	6人	4人	11人	10人	5人	はい：4人 いいえ：33人
石尾台小	50人	0人	1人	1人	7人	10人	14人	17人	はい：5人 いいえ：45人
押沢台小	40人	0人	4人	3人	2人	13人	6人	12人	はい：7人 いいえ：33人
計	127人	0人	6人	10人	13人	34人	30人	34人	はい：16人 いいえ：111人

地域の子どもたちが学校生活を送るにあたって重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

### ●回答結果の概要

3校ともに「⑤ 子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」、「② 子どもたちの通学の距離や方法」、「① 多くの子どもたちがいて人間関係に広がりがあること」が多く選ばれています。

地域アンケート結果（地域全体）と比較すると、押沢台小では「④ グループ学習などの多様な形態で学ぶことができること」も多くの方に選ばれています。



#### 4 「⑨ その他」の回答

##### ◆玉川小

- ・いろいろな事柄にある本質に触れる教育をされるといいと思います。例えば HIPHOP ならダンスだけじゃなくその裏にある黒人の歴史を学ぶ事で差別をしてはならないと言う事を学ぶと言うような感じですね。それと男女共に表面上の才能や見た目で人を判断する考え方を180度変え、人の中身を育み、人を蹴落とすんじゃなく、みんなで協力して行く生き方を学び、いじめをした者には二度としないように厳しいペナルティを与え、見た目で人を判断する者にはその考え方を改めさせる教育ですね。もちろんそれを教える立場の人にもしっかりと学んでもらいます!

そうする事により日本のいくつかの問題点とこれからの時代への対応ができるのではないのでしょうか?

- ・キャリアカウンセラーの配置と活用。

##### ◆石尾台小

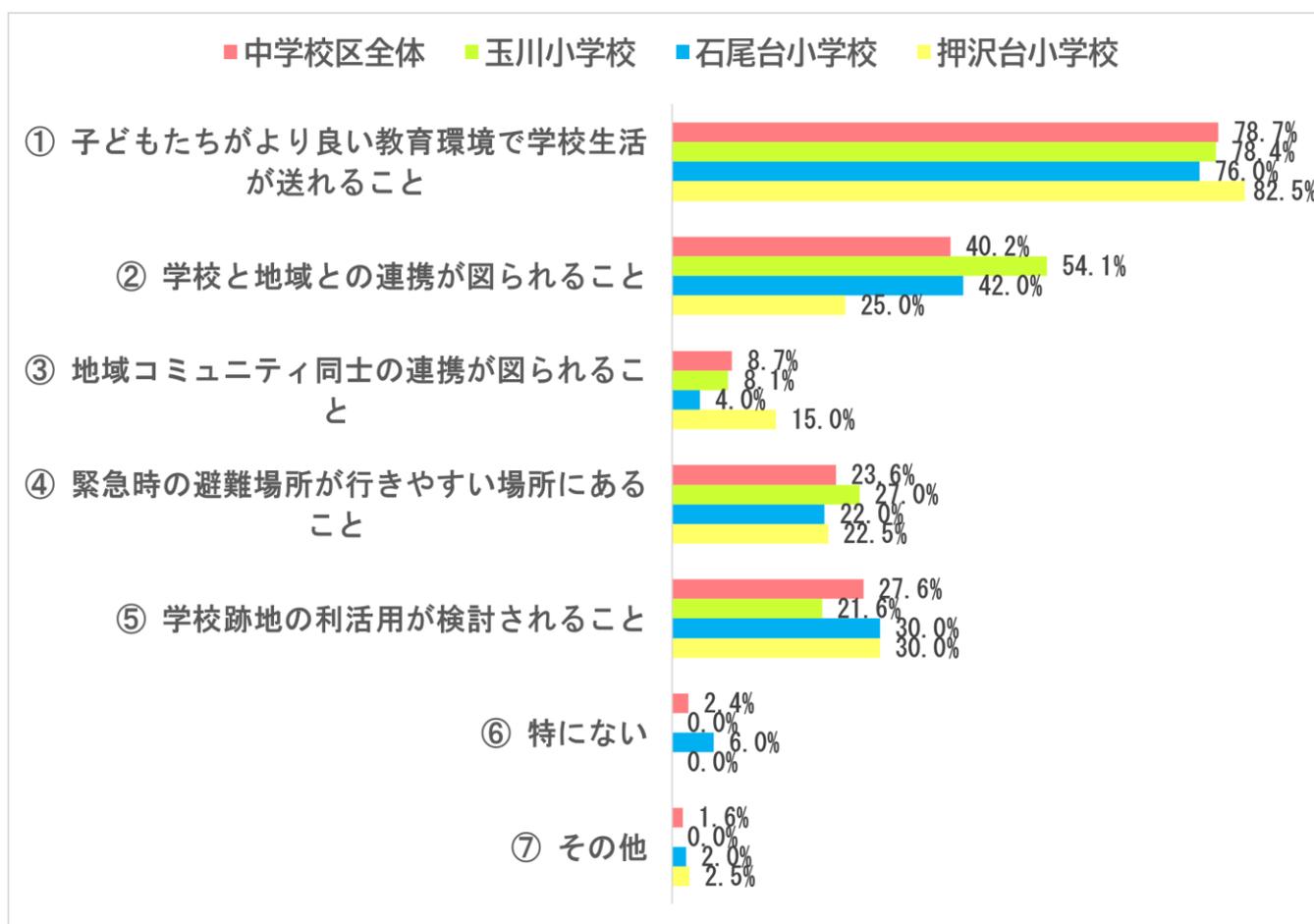
- ・いじめがないこと。孤立する子がいないこと。不登校になる子がいないこと。勉強ができなくても馬鹿にされたり、差別されたりすることがないこと。

学校の規模や配置を見直す場合、地域の方にとって、重要と思うことを次の項目から選択してください。(2つまで)

### ●回答結果の概要

3校ともに「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送れること」が最も多く選ばれています。

地域アンケート結果（地域全体）と比較すると、玉川小では「② 学校と地域との連携が図られること」も多くの方に選ばれています。



「⑦ その他」の回答

#### ◆石尾台小

・地域に住む住民と児童・生徒が自然に挨拶ができる関係がつかれること。

#### ◆押沢台小

・通学し易い=坂道ができるだけないこと。

市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

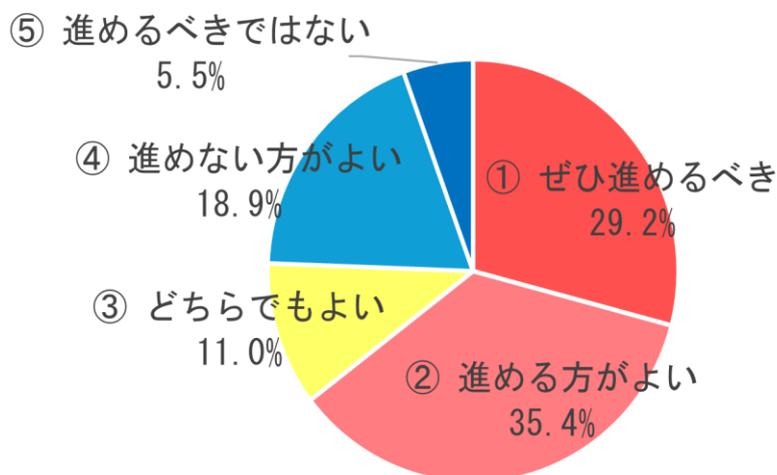
### ●回答結果の概要

64.6%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

24.4%の方が「④ 進めないほうがよい」又は「⑤ 進めるべきではない」と考えています。

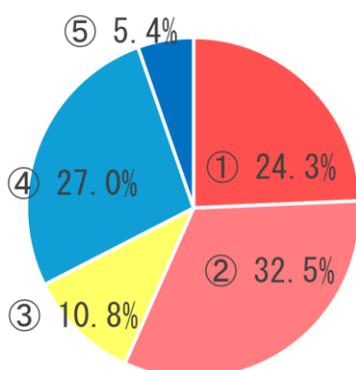
①又は②を選んだ方の割合は3校とも半数を超えているものの、④又は⑤を選んだ方の割合では、対象の12校の中で、玉川小(32.4%)は1番目に、押沢台小(22.5%)は4番目に、石尾台小(20.0%)は5番目に高くなっています。

### ◆中学校区全体

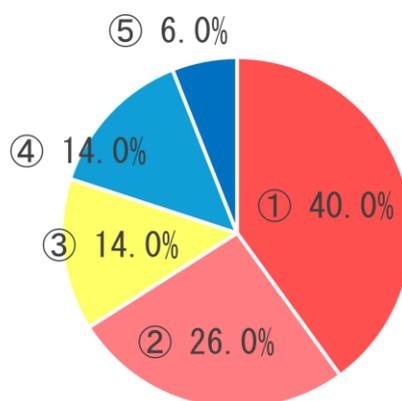


■ ① ぜひ進めるべき ■ ② 進める方がよい ■ ③ どちらでもよい ■ ④ 進めないほうがよい ■ ⑤ 進めるべきではない

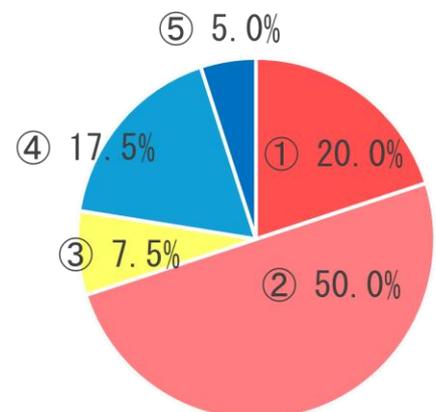
### ◆玉川小学校



### ◆石尾台小学校



### ◆押沢台小学校

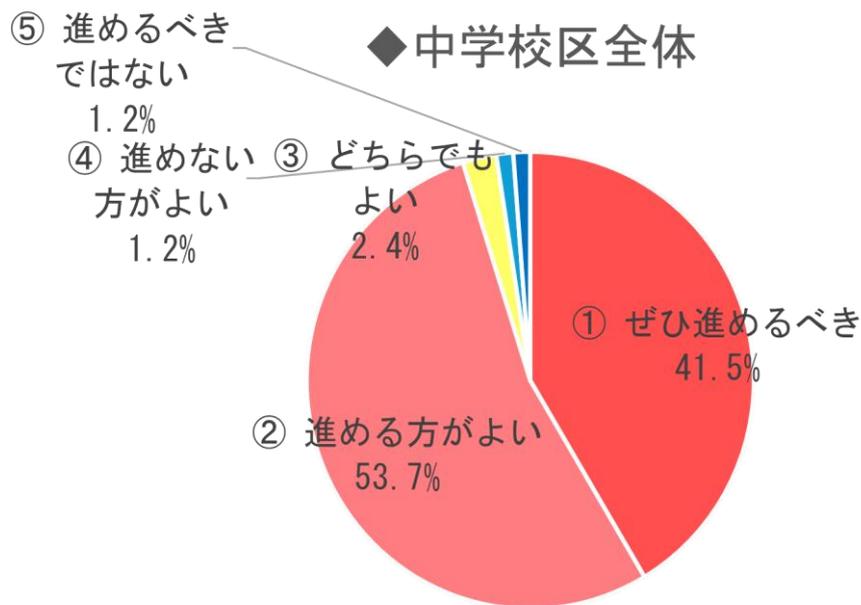


6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。  
(1つ)

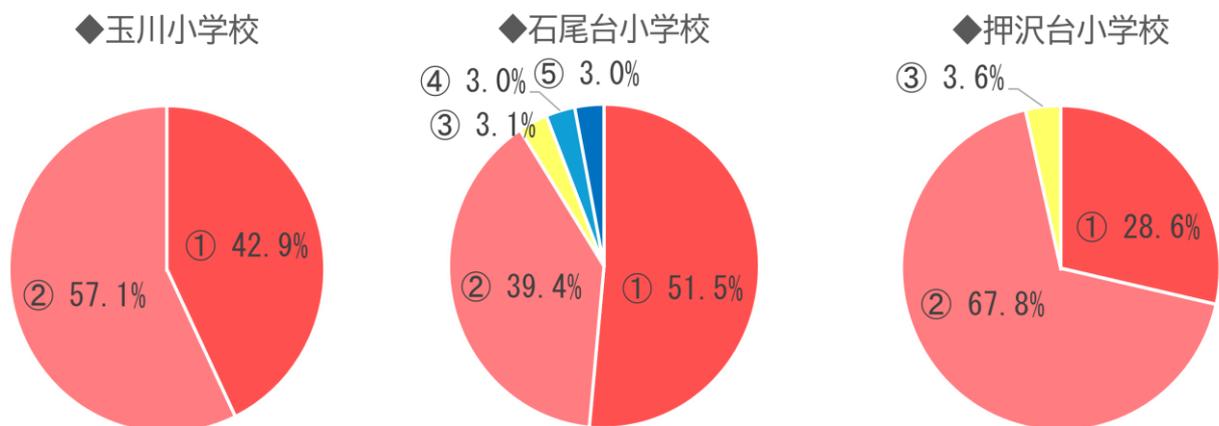
### ●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ方の95.2%が、「お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むこと」に賛成しています。

6の質問で①又は②を選んだ方のうち、「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方は、石尾台小でそれぞれ1人です。



■ ① ぜひ進めるべき ■ ② 進める方がよい ■ ③ どちらでもよい ■ ④ 進めない方がよい ■ ⑤ 進めるべきではない

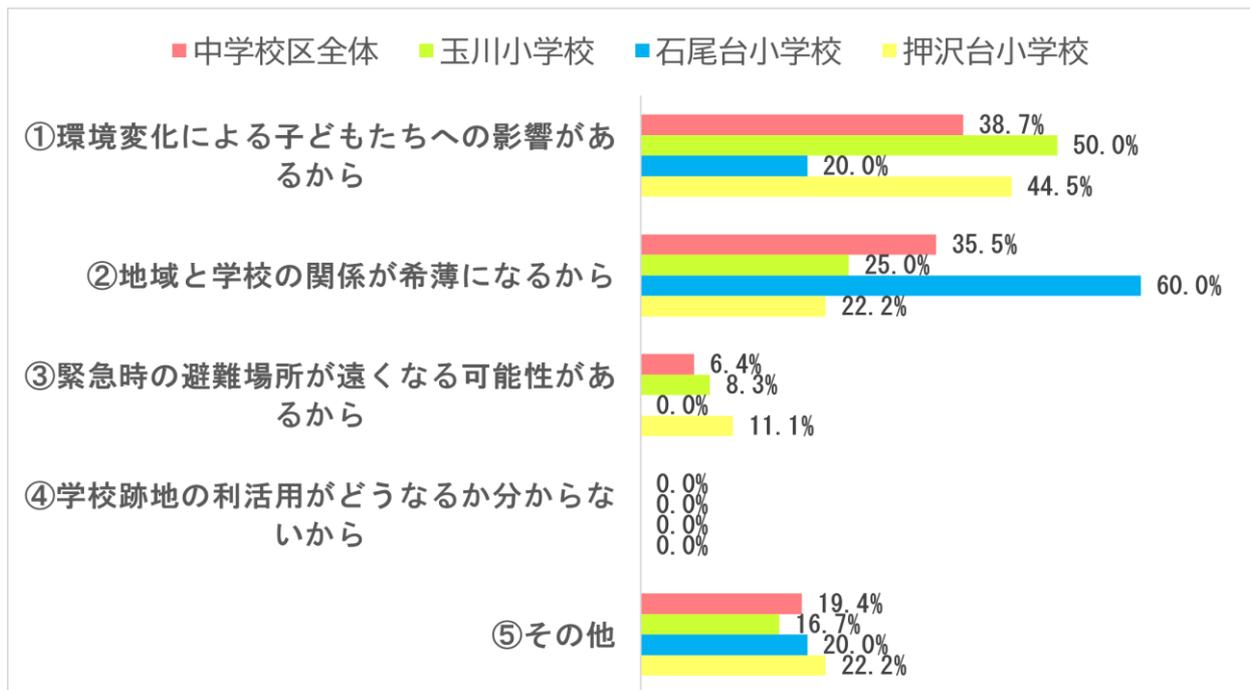


6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

### ●回答結果の概要

6の質問で「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方は、「① 環境変化による子どもたちへの影響があるから」と「② 地域と学校の関係が希薄になるから」を多く選んでいます。

地域アンケート結果（地域全体）と比較すると、石尾台小では②の割合が高くなっています。



「⑤ その他」の回答

#### ◆玉川小

- ・子ども達の通学が大変になるから。
- ・子供達の通学距離が長くなることによる負担増を懸念する。

#### ◆石尾台小

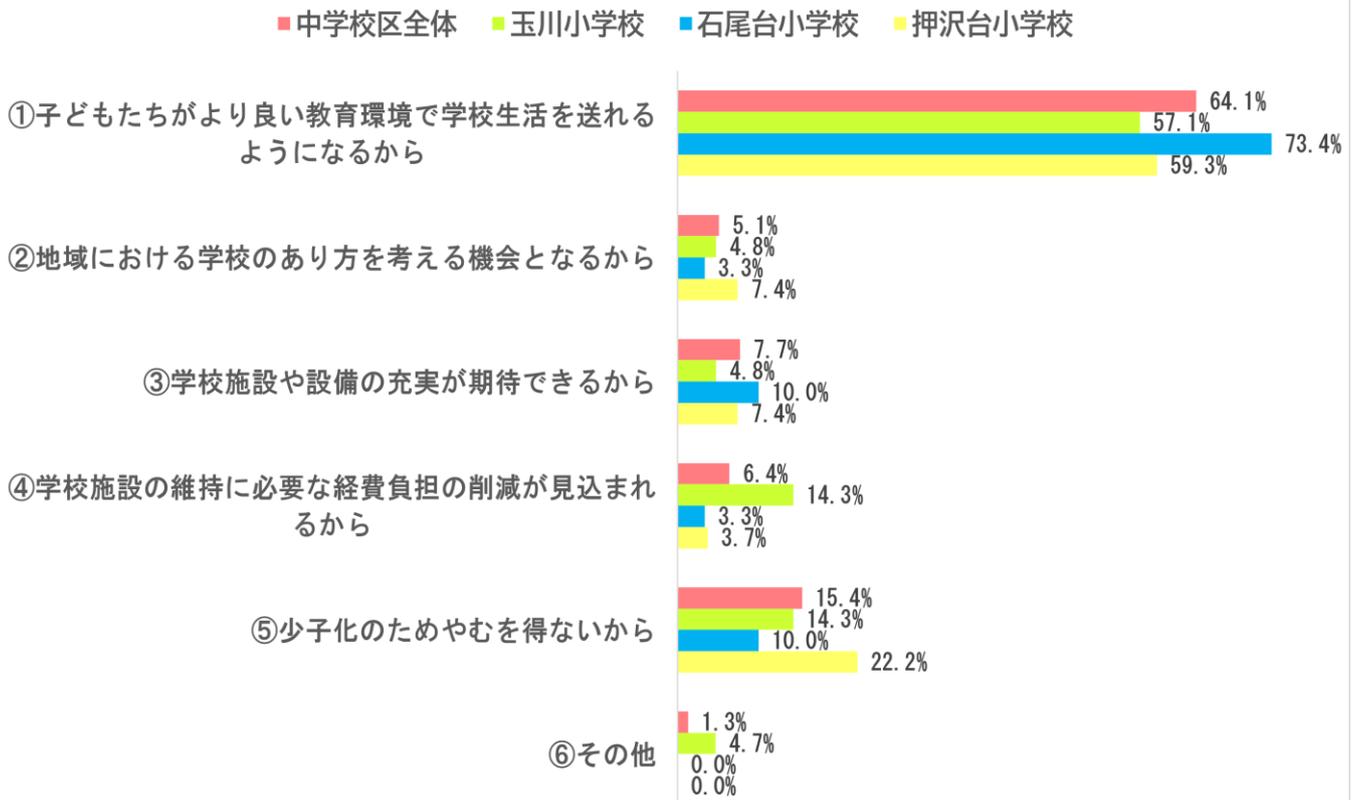
- ・学校への距離が遠くなった時の登校方法が不安。中学生は自転車に乗れるが、小学生は安全面の不安がある。距離が遠くなってしまう場合スクールバスを出すなど検討してほしい。
- ・今後の人口減（生徒減）の対応を学校内だけで解決しようとするのはいずれ破綻してしまう。12年後まではこれでいいかもしれないが、そのあとをどうするのかの考えが見えない。今後集約を続ければ地理的に通学できなくなることは明らかだ。生徒数の適正化ではなく、地理的な設置密度の観点から教育機関の配置を考えるべきではないか。ここにいう教育機関とは単に小学校、中学校という従来の枠組みではなく、小中一貫教育から始めて保育園や児童館、図書館、老人ホーム、防災拠点などが併設された複合教育機関が考えられる。教室で教科書中心のカリキュラムを専門教員が教える方法からこれらの併設機関を活用し、地域の多様な人材がかかわる割合を増やすカリキュラムといった、教育方法の変換も必要だろう。自宅から近い場所に学びの場があることは地元愛の涵養にも資する。要は、「1学年2学級以上あることが必要」といった現状のつじつま合わせから出発した考え方は賛成できない。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

### ●回答結果の概要

7-1の質問で、「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」を選んだ方の多くが、「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送れるようになるから」を選んでいました。

地域アンケート結果（地域全体）と概ね同様の傾向となっておりますが、石尾台小では①を選んだ方が特に多くなっています。



「⑥ その他」の回答

#### ◆玉川小

- ・子どものために、仲間がたくさんいる環境が、必要だとおもうから、

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

### ●回答結果の概要

7-1の質問で、「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方がそれぞれ1人で、「⑤ その他」を選んでいました。

「⑤ その他」の回答

#### ◆石尾台小

- ・人口が徐々に減ってきているが、回復させてから適正規模配置を検討すべき。行政はまだ、やっていない。何か行ったことがあったら教えてください。
- ・通学距離の遠さ

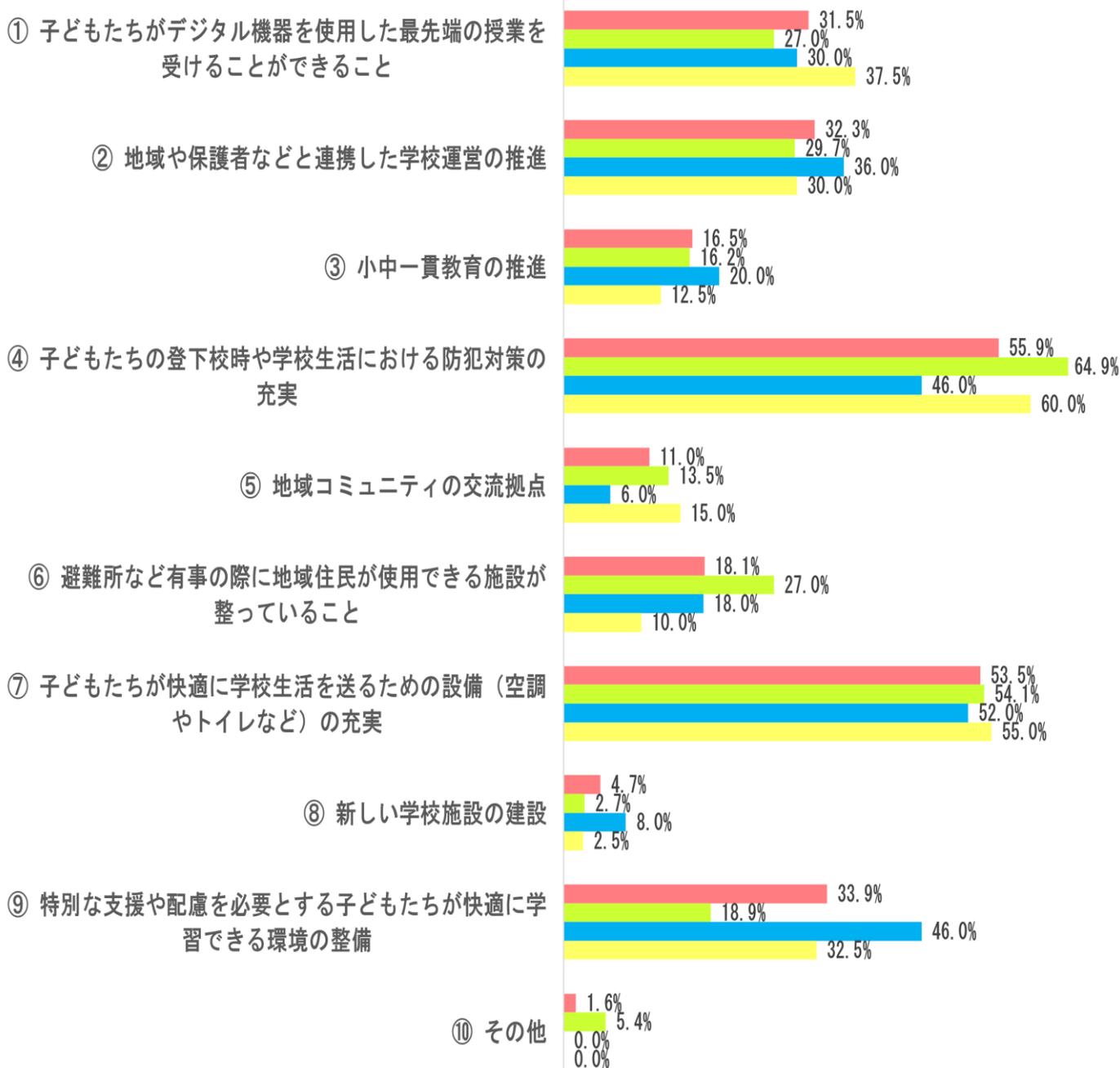
これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

### ●回答結果の概要

3校ともに、「④ 子どもたちの登下校時や学校生活における防犯対策の充実」、「⑦ 子どもたちが快適に学校生活を送るための設備（空調やトイレなど）の充実」が多く選ばれています。

地域アンケート結果（地域全体）と比較すると、石尾台小では、「⑨ 特別な支援や配慮を必要とする子どもたちが快適に学習できる環境の整備」も多くの方に選ばれています。

■ 中学校区全体 ■ 玉川小学校 ■ 石尾台小学校 ■ 押沢台小学校



## 9 「⑩ その他」の回答

### ◆玉川小学校

- ・マニュアル通りの昔からの椅子に座っての授業より、グループワークを増やし、ひとりひとりが意見を出して話し合う授業をふやしてほしい。自分を意見をしっかり持って言える子どもたちになってほしい。
- ・本質を学ぶ環境になること

10

自由記載(学校の規模や配置を見直すことについて、その他ご意見がありましたら、ご記載ください。)

### ◆玉川小 (11件)

うち、学校教育 (3件)、通学 (8件)、学校設備 (0件)、地域 (0件)、その他 (0件)

#### 学校教育について

- ・学級数よりも一学級に入る先生を一人ではなく最低でも二人入れた方が望ましい。教師不足の現状があるなら、教育に関心のある地域の大人を面談によって募集しても良いと思う。より多くの先生や大人の目があれば、一担任制による閉鎖的になりやすい教室から、いじめや不正が減ると思われるから。一担任に精神的負担が集中しないよう、教室にサポートする先生や地域の大人がいれば、子どもだけでなく、大人にも余裕が生まれ客観的に学級経営もしやすくなり、モンペア対策にも複数の大人で対応できるので、多忙な教員を救うことにつながるのではないかと思う。自分もいじめを経験したことがあり、学校にも私服の警察官や弁護士がいれば、いじめは起きにくいのにと常に思っていたことから以上のような意見を述べさせてもらった。
- ・少子化や学級数等を理由に統廃合を進めるべきではありません。教職員の質や数、老朽化した校舎の建て替え、部活や放課後学級等と合わせて包括的に考えるべきです。今回の趣旨とは外れますが、電子教科書による学習内容の定着率の悪さも忘れてはいけません。
- ・他県のスクールソーシャルワーカーをしています。不登校の子が増えていて、生徒間のトラブルや先生も問題を起こしたりしています。一学年一クラスだと、生徒の逃げ場もなくなりますし、先生との相性がよくない場合には不登校が続きます。春日井市も学校選択制度を導入してはどうかと思います。他県ですが、地域によって問題が多いところとそうでないところがあります。

#### 通学について

- ・学校へ行く距離が遠くなる事への、子供の負担はかなり大きいと思います。学校の数进行を縮小したいのであれば、スクールバスなどの検討もした方が良いのではないかと思います。自分の子供の経験から、中学校の時に距離が遠くなり自転車通学になり、重い荷物をのせて、坂を重たい自転車をひいて歩いて通ってました。かなりの疲労度で毎日が学校に行くのでいっぱいでした。家での学習にかなりマイナスでした。学校から近くの子達は余裕があるので、当時は羨ましく思う事も度々ありました。このように、自分の経験から、学校が統一される事で良い事もあるかもしれませんが、遠距離になる子供達に負担がないような政策を考えて頂きたいと思います。

## ◆玉川小

### 通学について

- ・玉川小学校校区です。押沢台と統合となると、玉野地区からの通学距離が長くなり、小学校低学年や、夏場の児童の身体的負担が大きくなることを非常に心配しています。少子化の中で地区に子供が少ないこともわかりますが、若い世代が引っ越してくるような魅力を作ったり、地域の公園にしてももっと管理して子育て世代を誘致できる地にする工夫も必要だと感じます。
- ・玉川小学校地区だと石尾台中学校・高蔵寺中学校までの距離にほぼ差がないため、どちらに進学するか選択できるようにしてほしい。
- ・高蔵寺ニュータウン内の学区を統合すると子どもたちの通学が可哀想です。バスの送迎、自転車通学も困難で、保護者の送迎となると学校の周りの交通渋滞と保護者の負担も大きくなると思います。
- ・合併などによって、子どもの通学距離が長くなってしまい、交通事故や連れ去りなどの事件に巻き込まれるリスクを出来るだけ回避して検討して欲しいと思います。
- ・少子化もあり学校の統合は必要になってくると思うが、通学時間が増える等のデメリットもある。スクールバスを走らせることも解決策のひとつだと思う。費用も発生するが、少人数の学校をいくつも存続させるよりは維持管理費は少なく済むのではないだろうか。子供達も多人数で学んだ方が、人間関係の経験値を上げられると思う。多方面から検討していただき、より良い教育環境を提供していただきたい。
- ・適正ばかりが強調されているが、小学校は歩いていける近いところにあるべきと考える。小規模には小規模の良い面もあるのに、全く触れられていない。小学校が遠い地域には若い人たちは移住せず、街がどんどん過疎化していくのは問題。春日井東部西尾方面は益々過疎になるのでは？学校の存続は地域の存続にかかっている。安易に適正規模だからと、統廃合してはいけないと思う。このアンケートは、統廃合に向かうような問いで構成されている。
- ・玉川小学校区から石尾台中学校はかなり距離がある。また、石尾台小学校、押沢台小学校、玉川小学校ともに1クラスしかないので押沢台小学校を廃校し、その場所を石尾台中学校としていただきたい。温暖化が進み、高温の日には長い長い登り坂を通学するのみ熱中症にならないか心配でしようがない。

## ◆石尾台小（28件）

うち、学校教育（14件）、通学（6件）、学校設備（1件）、地域（3件）、その他（4件）

### 学校教育について

- ・少子化に伴い、学校の規模等考え直すのは大変良いと思います。その分、学校の設備をより良く整えてあげたり、支援が必要な児童のために必要な人材を入れたり、と、今までとは違う新たな時代に合う教育体制を整えてあげて欲しいと思います。子どもは、宝です。子ども達の未来が良きものとなる様、どうぞ御検討ください。よろしく願いいたします。
- ・いろいろと異なる意見があると思いますが、子ども達のことを考えると、やはりある適度の人数の中で学んでいくことが、大切であると考えます。
- ・一クラスしかない中で子どもたちがお世話になりましたが、先生方の力量の差が、ダイレクトに子どもに影響する怖さを感じました。複数クラスあることで、多くの目で子どもの教育に携わって欲しいと願っていたので、ぜひ進めていただきたい。
- ・我が家の子ども2人(姉弟)とも1学年1クラスで小学校生活を送った。姉にとっては1クラスで特に気にならなかったと言ひ、弟にとってはクラス替えがなく人間関係が大変そうだった。添付資料を見ると現状では1クラスであっても30人くらい児童がいるが、数年後にずっと人数が減ることが見込まれるなら学校の配置を考える必要があると思う。1学年複数クラスになることで1校当たりの教員数も増えて、きめ細かい教育につながると思う。また既存の校区割にこだわらず、通学の安全、時間も考慮して、新しい校区を設定しても良いのではないのでしょうか。
- ・我が家の子供たちは1学年1学級の小学校だったため、人間関係の固定化、トラブル時の対応の難しさを感じていました。幼稚園の時の同級生の中には、地域の小学校に上がると同性の同級生が数名しかいないとのことで転居した人もいました。複数学級は必要だと感じています。通学に無理の無い範囲で再編成すべきではないのでしょうか。
- ・各中学校ブロックで、義務教育学校に再編し、より主体的創意工夫ができる学校教育を推進していただきたい。
- ・私の子供は1年生から一度もクラス替えの経験をせず中学生になりました。このアンケートが届きクラス替えの有無について本人に聞いてみましたが、見知った学童とずーっと一緒だった事は良かった・不都合を感じたことは無かったと言っていました。このアンケートの回答者の中にはOB・OGの人が多数いると思いますが、1学級しか経験のないこれらの人の意見を是非とも重視していただければと存じます。
- ・学年1クラスだった息子やその友人は、クラスメイトに嫌な事をされても「この先も同じクラスだから」と、じっと我慢していると話してくれました。10歳程度の子に人間関係を遠慮させていたのは少人数クラスだから。彼らには逃げ道がないのです。
- ・教師一児童・生徒、児童・生徒間で人権が尊重される教育環境が築き上げられていることが何より大切なことだと思います。
- ・石尾台小学校はここ十数年、生徒数の減少により全学年一クラスであるのが問題であり、担任教師に非常勤講師等も導入し全学年2クラス制とし、生徒間における適応能力向上を図る事が望ましい。

## ◆石尾台小

### 学校教育について

- ・石尾台小学校はかなり以前から1クラスで、6年間同じ子どもたちだけで生活しているので、仲はいいかも知れないが、やはりいろんな子どもたちと生活する事が成長に繋がるものと考えます。藤山台小学校のように新しい校舎を建てて、新しい気持ちで一緒に勉強するのがいいと思います。
- ・小さな校区で「おらが学校」という狭い認識を持ったり、統合によって通学距離が長くなるから反対するなどという一面的な考えに固執したりすることなく、以前の児童生徒数とは大きく異なることを認識して将来の子供たちにとって総合的に良き教育環境を整えることを進めるべきだと思えます。
- ・公民館とは違った役割が小中学校にあります。子供の公教育とともに学区の大人にとっても歴史文化を学び鍛え直す公教育機関です。子どもたちの教育とともに、歴史文化の背景を、学区に発信することも大切な機能です。
- ・児童の意見を尊重して、すすめてほしい。

### 通学について

- ・私自身、中学校が遠く（坂が多いところだったため自転車で30-40分かかっていた）重い荷物を持って毎朝早く自転車で通って大変だった。実際荷物が重すぎて自転車で転倒したこともある。学校の規模や配置を見直すのは良いが、特に小学生の小学校の距離が遠くなった場合の具体的な安全性と登校方法を示してほしいと思う。最近の夏はとても熱いため歩いて登校する距離が遠くなったときに熱中症なども心配。
- ・保護者アンケートの結果を拝見し、「登下校時の安全面」を心配されている保護者が多いことが分かった。瀬戸市での例などを参考に、進めて行って欲しい。中1ギャップの解消のために、小中の連携を進め（小中一貫校を含む）、魅力ある学校をつくり、地域の活性化（若い世代の流入）に繋げて欲しい。
- ・特に小学生の通学距離が長くなるのが心配です。古い設備も改善されると良いと思います。
- ・現在の学区分けの見直し。隣の学区への通学距離の方が近いなど、ニュータウン独特の地形の為仕方ないとは思いますが、これを機に見直しても良い様に思う。その際は、在学中の生徒の環境が大きく変わらない様、新入学からにする等の配慮も含め検討していく必要がある。
- ・小中共通学距離は重要な要件だと思います
- ・中学生は自転車通学が可能だが、小学生の場合は体力がないので（異常気象や防犯の観点からも）、距離、地形を鑑みて、スクールバスもしくは公共交通機関のバス通学を取り入れれば、統合も良いかもしれない。登下校の見守りは、保護者でなく、主にリタイアされた世代の方に頼っているが（それも最近では人手不足。）、今以上の距離になると、それも無理になってくるので、その点は、よく考えてほしい。共働きの保護者が多いので、保護者にも地域の人にも、負担をかけてはいけないと思う。

## ◆石尾台小

### 学校設備について

- ・ 7-2 のコメントに追記する。学校という施設はあくまでも子供たちの教育機関であるべきで、地域コミュニティの交流拠点とか、避難所など多様な機能を寄せ集めて個別に併設させるのではなく、必ず子供たちの教育と連携させた施設にすべきだと思う。

### 地域について

- ・ 時代を映すニュータウンと言う特性地域に在住のものとしては、衰退の認識が増すばかり。所属自治会散見するに、老々介護の様相が否めないし、自治会運営自体が過大な労となっている。防犯活動の一環で早朝通学時の通学路朝立ちにおいても、他自治会の子供数人の状況、上部広域連携化した自治会運営も参加限界、脱退の模索も要する状況。午後の放課後においても、グラウンド、体育館での盛んな部活動が見られなくなった。児童の人数集約は重要だと思う。但し、本末転倒とせず、緊急避難場所となっている点を並列の観点として扱うべき。人、時に児童以上に高齢者、要介護者の避難に至近性は重要。その為、学校跡地について、体育館のみ等を避難所として残存させる事も検討課題と考える。
- ・ 若い人が多く住む町づくり。
- ・ 人口減少などで様々な「困り事」が多世代で出てきています。学校が地域の中心となる事で、子どもを守ることもつながります。多世代コミュニティの中心としても、人の出入りがある事で防犯にも繋がり、グルッポやノキシタプレイスのように、相談機能も複合的に入れる事で、情報共有につながり、地域づくりにも役立ちます。そうする事で住民の意識が育つきっかけになるのでは、と考えます。

### その他

- ・ 学校の配置や規模を見直すにあたっては、人的資源等を集中させることによる経費の削減についても議論が出てくるとおもいますが、削減するのかどうか、削減したならその分を何に使うのか等、財政面に全く触れていない（説明がない）今回のアンケートに疑問を感じる。見直しありきのアンケートになっているのではないか。
- ・ 空き家の有効活用（貸家として、又は再販など）を促し、子育て世代に住みやすい街作りを推進するなど都市計画レベルでまんべんなく子供が住まう活気あふれる春日井市になれば良いと思います。
- ・ 石尾+東高森、中央+高森+押沢、玉川+高座で良いと思う。小牧市桃花台も歴史ある篠岡小を廃校してまで統合に向かっている。春日井市は動き出すのが遅すぎる。
- ・ 地域性が有り、子供にとっても親にとっても、登下校を含め地ならしが必要です。

## ◆押沢台小（21件）

うち、学校教育（8件）、通学（9件）、学校設備（1件）、地域（2件）、その他（1件）

### 学校教育について

- ・いじめや不登校の子ども減らすために、先生が楽しい授業をできるような環境改善をお願いします。
- ・クラスの数の問題もあるが、そもそも一クラスあたりの人数が多いと思う。国の決まりもあるが各市、各県で決めることが出来るといいなあ。孫は一年生から卒業まで一クラスだった。それはそれで団結力があったり、一人一人を六年間見ている訳で良い面もあったと思う。ただ、あと一人で二クラスという人数だと先生も余裕がない。校舎にはかつて教室だった部屋も余ってるんだから少人数でのクラス編成でいろんなところに目が届く教育をしてもらいたいなあ。それには教師の人数を増やさないといけない問題も出てきますが、これからの日本を生きる子どもたちの為により良い教育ができる、何より子どもが好きで愛情を持って教育できる人材を送るために税金を使ってほしいと思う。
- ・クラス替えが出来る体制を整えたいと言っても、小学校低学年に長距離を歩かせる事になったり、事故が起こりやすい環境を作ってしまったら本末転倒なので、良く考えて頂きたい。頂いた資料にクラス替えが可能になることによるメリットが記載してあったが、それなら少人数制の方が配慮出来るのでは？とかクラス替えをしても出来るとは限らない項目や、教員の人数が少ないのに負担はどうなのか？とかベテラン(能力のある)の先生の確保が必須な項目などもあり本当に大丈夫なのかと疑問視する項目が多々ありました。そもそもクラス替えが出来ない関係で縦割り班を作り、子供達の成長を促してもいると思うのですが？こればかりは市が行いたいからではなく、これからお子さん方を小中学校に通わせる親御さん、今通わせている親御さん、今通っている子供達の意見をくみ取って頂きたいと思います。長文失礼致しました。
- ・近くの学校と交歓学習などする。
- ・学校は子供たちがまず社会性を学ぶところ、大勢の人たちが集まった社会環境を作ることが重要だと思う。
- ・当地区の少子化が進む中で一定レベル以上の小学校教育を進めるためには統合メリットを活かすべきです。石尾台、押沢台、玉野を一つのエリアとして押沢台に統合し、より良い教育環境を実現させるべきと思います。現3校の教育理念、指導要領、通学方法と安全確保、校舎・設備の老朽化対策、地域住民の感情などで反対意見も多く出るとは思いますが、子供達の未来を守るための教育投資として地域全体で進めましょう。
- ・藤山台校区の統合にご苦労されたことは聞いております。私たち地域の者は将来の子どもたちの育っていく環境をよくするために協力することが絶対条件だと考えます。私たちの出来ない事を進めていただいている事に感謝をいたします。
- ・春日井でも、地域によって解決すべき課題が大きく異なっている。市一律ではなく、それぞれの地区において、より良い解決方法を流動的に実施できるように進んでいければ望ましいと考える。

## ◆押沢台小

### 通学について

- ・「玉川小-押沢台小-石尾台小」は、長い急坂が多い、および学校間の距離が離れすぎているので、通学の負担が大きすぎ、まとめることはできない。
- ・我が家の子供達は押沢台の小中ではありませんが、マンモス校の出身です。私自身も世代的にマンモス校でした。色々な考えの子供達の中で過ごす小中での生活は少ない生徒数より、ある程度人数が多い方が集団生活も学べて良かったと思っています。ただ、統廃合で通学距離が遠くなるのは子供達にとっての負担が大きいのだと思いますのでその点は配慮が必要になる事だとも思います。
- ・学校を統合する事はしょうがないかもしれないけど、それによって登下校の距離がすごく遠くなる場合は、町などの区切りで一律で決めるのではなく、近い方の学校を選べるとか、町の真ん中で切るとか、考えるべきだと思う。
- ・規模を考えると一学年2クラス以上が望ましいと思う。クラス替えの度に生徒が新しい人間関係を作る環境は必要。学校を統合すると遠距離通学を強いられる生徒が発生することから、スクールバスや通学補助費などの整備をすると望ましいと思う。
- ・今の中学校の校区のまま小学校を減らすことにはかなり遠くなる児童が出てくるため反対です。
- ・今までの学区を守ることも登下校の安全やかかる時間を優先して見直ししてほしい。
- ・少人数での1クラス制にもメリットはたくさんあると思いますが、もしイジメや問題が起こった場合逃げ場がないので、クラス替えができる方が良いと思います。ただし、適正規模だけを考えるのではなく、統合するのであれば、坂道ばかりの地域では低学年の子供達にスクールバスを出すなど、登下校への配慮は必要だと思います。
- ・通学が大変にならないように検討して欲しい。通学が安全にできるように検討して欲しい。
- ・統合により低学年の登下校が困難になる事が気になる。

### 学校設備について

- ・廃校となる校舎及び校庭の利用方法。耐用年数が過ぎているか、近い場合は取り壊し、コミュニティの施設を新設することを検討してほしい。

### 地域について

- ・子供達がお世話になった学校が無くなるのは大変寂しいですが、少子化のこの時代、校区の再編が行われることはやむを得ないと考えます。統合後の学校跡地がどうなるのかが気になります。夏祭りなどのイベントに利用できて、地域のコミュニティの中心地となるような施設ができるのなら、賛同したいです。
- ・小学校の統合が避けられないと考えているが、現在、小学校は地域活動の核的な存在である。統合により当地域に小学校がなくなった状況で、現小学校地域を対象とした地域活動がうまく実施できるか不安である。

### その他

- ・自由記載の趣旨とはズレるかもしれませんが、このアンケートの回答の選択肢では、学校規模や配置を見直すことが良いと思われる項目が上位にきていたり、あらかじめ2学級あることが良い、と提示されてから回答することになっていたりして、アンケート結果が「進める」方に傾くことは必然ではないでしょうか？。結果は誘導されていると感じますが、どうでしょうか？アンケートの目的に疑問を感じました。

アンケートの結果は以上です。  
アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や  
地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。  
今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



#### 問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp